

小学校第1学年 単元別たしかめテスト〔まとめの問題 1〕

1年()くみ()ばん 名前()	①~③: 知識・理解 (/3)	④~⑩: 技能 (/7)	得点 (/10)
--------------------	---------------------	------------------	--------------

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

① なんじ なんぷんでしょう。



② つぎの しきに あてはまる もんだいを 下の (あ) ~ (う) の中から 1つ えらび きごうで こたえましょう。

しき $10 - 5 + 3$

(あ) バスに 10人 のっています。つぎの バスでい 5人 のりました。そのつぎの バスでい 3人 のりました。バスには いま なん人 のっているでしょう。

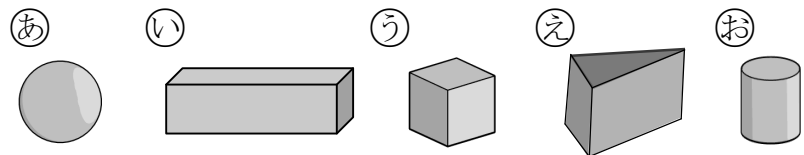
(い) バスに 10人 のっています。つぎの バスでい 5人 おりました。そのつぎの バスでい 3人 おりました。バスには いま なん人 のっているでしょう。

(う) バスに 10人 のっています。つぎの バスでい 5人 おりました。そのつぎの バスでい 3人 のりました。バスには いま なん人 のっているでしょう。

③ () に あてはまる かずを かきましょう。

36は 10を()こ と 1を()こ あわせた かずです。

④ 上から みると のように みえる かたちを ①~⑤ の中から ぜんぶ えらんで きごうで こたえましょう。



こたえ

⑤ したの カードの 中で こたえが 7になる カードは ぜんぶで なんまい あるでしょう。

$13 - 9$	$11 - 5$	$15 - 8$	$12 - 5$	
$16 - 8$	$14 - 7$	$18 - 9$	$13 - 6$	

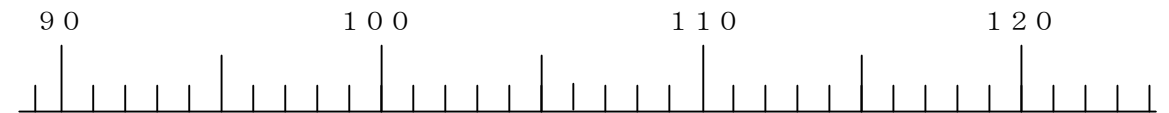
⑥ したの カードの 中で こたえが 100になる カードを ①~⑤ の 中から ぜんぶ えらび きごうで こたえましょう。

① $50 + 40$	② $60 + 30$	③ $50 + 50$	④ $10 + 90$	⑤ $20 + 60$	
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--

○ つぎの () に あてはまる かずを いれましょう。

⑦ 115 より 8 ちいさい かずは () です。

⑧ 117 は 120 より () ちいさい かずです。



○ こどもたちが でんしゃの きっぷを かうために 1れつに ならんでいます。かずさんのまえには 7人います。つぎの もんだいに こたえましょう。

⑨ こどもたちを つぎのように ○であらわすと かずさんは どの ○になる でしょう。○を くろく ぬって こたえましょう。

(まえ) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (うしろ)

⑩ かずさんは まえから なんばんめでしょう。

ばんめ

小学校第1学年 単元別たしかめテスト〔まとめの問題 1〕 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	時刻（時・分）を読み方を理解している。	10じ13ぶん			○		○		80%
②	3つの数の計算で、加法及び減法が用いられる場合を理解している。	う			○	○			90%
③	100までの数について、数の構成を理解している。	3, 6			○		○		90%
④	立体の面の特徴から、上から見て円になる形を選ぶことができる。	あ, お		○		○			80%
⑤	繰り下がりのある減法の計算ができ、条件に合う答えのカードを見つけることができる。	4まい		○			○		80%
⑥	十を単位としてみられる数の加法の計算ができ、条件に合う答えのカードを見つけることができる。	う, え		○		○			80%
⑦	数直線をもとに、115という数を多面的に見ることができる。	107		○			○		80%
⑧	数直線をもとに、117という数を多面的に見ることができる。	3		○			○		80%
⑨	問題文の人数をもとに、位置を図に表すことができる。	前から8番目をぬる		○			○		80%
⑩	人数を順番に置き換えることができる。	8		○			○		80%
合 計 10 問			0	7	3	3	7	0	82%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト〔まとめの問題 2〕

1年 () くり () ばん なまえ ()	①~⑤: 考え方 得点 (/ 5)
--------------------------	-----------------------

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

① $5+3$ の しきに なる もんだいを つくりましょう。

② 大きさのちがう ふたつの つくえの よこの ながさを くらべます。
たかしさんは ふたつの つくえを くっつけて くらべました。 よし
こさんは つくえを くっつけなくて ながさを くらべました。
よしこさんは どのような やりかたで くらべたのか かきましよう。



③ カルタとりで はなこさんは たろうさんより 2まい すくなかった
そうです。たろうさんは 9まい とりました。はなこさんは なんまい
とったでしょう。

しき こたえ

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

④ ケーキが 9こ あります。こどもに1こずつ くばると 4こ
たりませんでした。こどもは なん人いるのでしょうか。

しき こたえ

⑤ ひょうを みて つぎの もんだいに こたえましょう。

3 1	3 2	3 3	3 4	3 5	3 6	3 7	3 8	3 9	4 0
4 1	4 2	4 3	4 4	4 5	4 6	4 7	4 8	4 9	5 0
5 1	5 2								
	6 2								
		7 3							
			8 4						
				9 5					
									1 1 0

★に あてはまる すうじを こたえましよう。 また どのよう
にかんがえて そのすうじを もとめたかも かきましよう。

★ のすうじは ()
[もとめかた]

小学校第1学年 単元別たしかめテスト〔まとめの問題 2〕

出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	5 + 3の式を用いる問題文を考えることができる。	<p>【増加の問題例】 公園で5人遊んでいました。あとから3人来ました。あわせて何人でしょう。</p> <p>【合併の問題例】 あかいはたが5本，しろいはたが3本あります。ぜんぶで何本でしょう。</p>	○					○	80%
②	ものの長さの比べ方について，任意単位による測定の方法を考えることができる。	ひもやテープでながさをはかってくる。えんぴつなどで，いくつぶんかをはかってくる。など	○					○	70%
③	絵をもとに，減法の式を用いる問題文を考えることができる。	9 - 2 = 7 7まい	○					○	85%
④	問題文から，加法を用いる場合であると判断して立式し，答えを考えることができる。	9 + 4 = 13 13人	○					○	80%
⑤	数表から見出した答えの求め方（数の並び方のきまり）を説明することができる。	<p>106 ・36，46から十の位の数字が一つずつ増えていることに着目したもの。</p> <p>・62，73，84，95から一の位と十の位の数字が一つずつ増えていることに着目したもの。</p> <p>・110から1ずつ小さくして求めたもの。 など</p>	○					○	70%
合 計 5 問			5	0	0	0	2	3	77%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト〔まとめの問題 3〕

1年()くみ()ばん なまえ()	①～④: 考え方 得点 (/4)
---------------------	----------------------

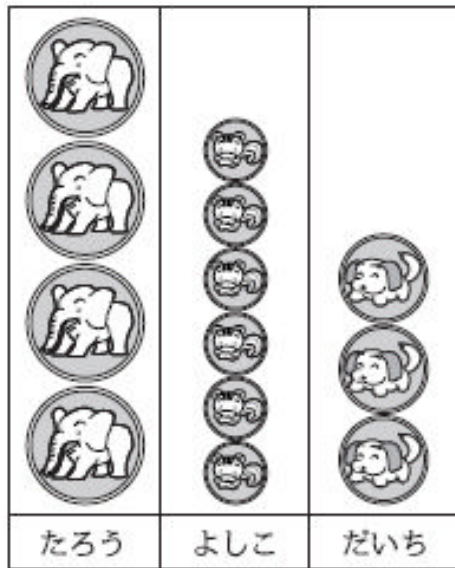
○ つぎの もんだいに こたえましょう。

- ① こたえが 14になる たしざんの しきを 5つ つくります。つぎの 5つの かずから えらんで つくりましょう。おなじすうじを なんと つかっても かまいません。

5 6 7 8 9

<input type="text"/> + <input type="text"/> = 14	<input type="text"/> + <input type="text"/> = 14
<input type="text"/> + <input type="text"/> = 14	<input type="text"/> + <input type="text"/> = 14
<input type="text"/> + <input type="text"/> = 14	

- ② こんしゅうの めあてが まもれたひとは (あ)のように どうぶつシールを はります。たろうさんは「ぼくが 1ばんだ。」とよろこんでいます。それを きいた よしこさんは たろうさんのかんがえは まちがっていると いいました。そのわけを よしこさんの ふきだしの中に、つづけて かきましよう。



(あ)



たろう

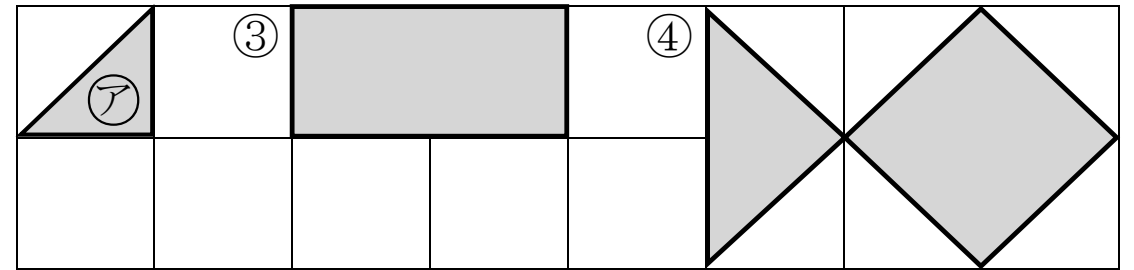
ぼくのが 1ばん たかいから 1ばんだ。



よしこ

ちがうよ。どうしてかというと、

- ③と④のかたちは ①のいろいろだが なんまいで できているかを もとめるために ずのなかに せんをかき いろいろの かずを こたえましよう。



③ ()まい

④ ()まい

- ⑤ はとが 5わ います。3わ とんで いました。そのあと 4わ とんで きました。はとは ぜんぶで なんわに なったでしょう。このもんだいを よしこさんは



よしこ

$$5 - 3 = 2$$

$$2 + 4 = 6$$

と しきを かんがえました。よしこさんの かんがえたしきを ひとつのしきで かきましよう。

しき

小学校第1学年 単元別たしかめテスト〔まとめの問題 3〕 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	1つの数をいろいろな数の和として考えることができる。	$5 + 9$ $9 + 5$ $6 + 8$ $8 + 6$ $7 + 7$	○			○			70%
②	それぞれのシールの大きさが違うことに気付き, 見た目だけではなく, 物の個数で多い少ないを考えることができる。	(例) ・ちがうよ。どうしてかというと, たろうさんのシールがたかいけど, 数は, わたしが1ばんよ。 ・ちがうよ。どうしてかというと, たろうさんは4まい, だいちは3まい, わたしは6まいだから, わたしが1ばんよ。 ・ちがうよ。どうしてかというと, たろうさんが1ばんにみえるけど, シールの数が1ばんおおいのは, わたしよ。 (シールの数に着目した答えであればよい。)	○					○	80%
③	いろいろな形を見て 色板の並べ方を考えることができる。	4まい	○					○	80%
④	いろいろな形を見て 色板の並べ方を考えることができる。	6まい	○					○	80%
⑤	2つの式で考えたものを, 3つの数を使ったひとつの式として考えることができる。	$5 - 3 + 4 (= 6)$	○					○	80%
合 計 5 問			5	0	0	1	1	3	78%